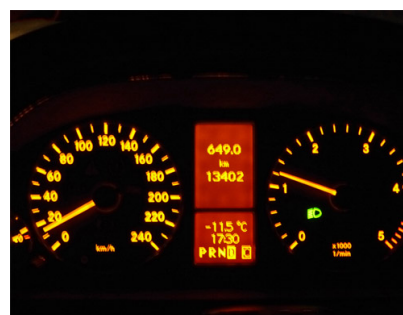
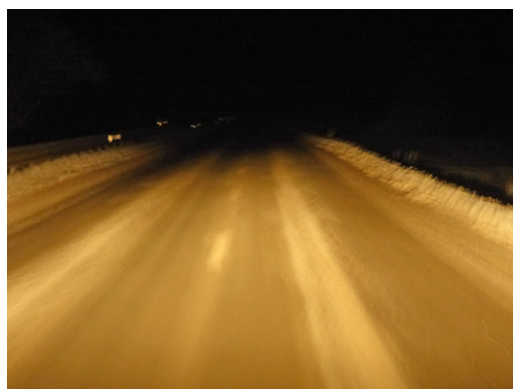
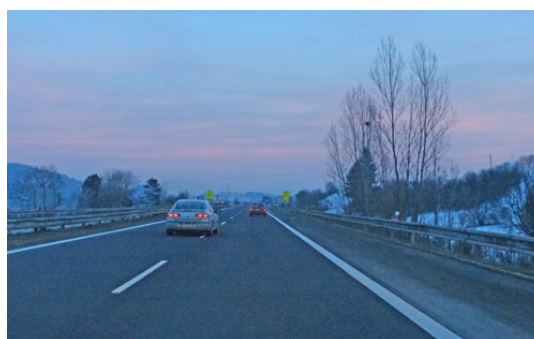
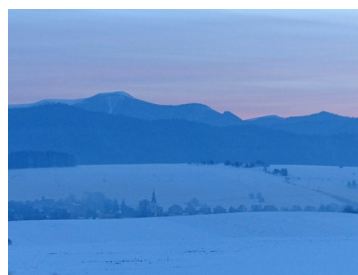
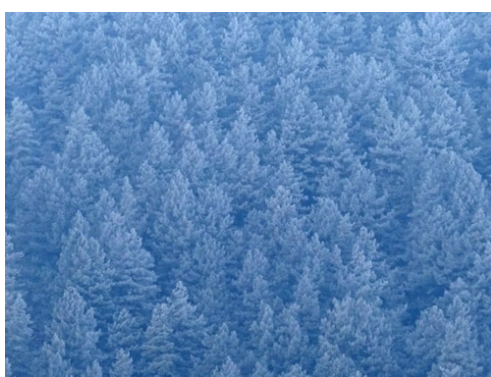


## 3693 欧州 18カ国の旅：薄暮から日没のロマン

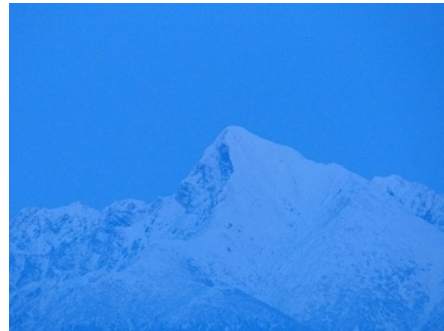
ギリナから、次に宿泊したロズナバへの道中は、左右が山脈。冬は、荒涼の地。

春夏は 180 度、景観は変わる。薄暮は危険。午後 5 時には真っ暗。

こうした状況下、地道から、限られた時間を楽しんだ。高速道路も油断大敵。凍結の危険性。



高速道路に入る前、駐車できるスペースと雪の光景を、運良く見つけた。  
見過ごし通りすぎることはできない。もう少し… 前方の山を抜けると視界も広がるだろう。  
体験上、この状況下まで来れば一安心。車の温度計マイナス 11.5 度、17:30 分。



トンネルを抜けると、視界が広がった。この日も運良く宿が見つかった。  
ネガティブでなく、ポジティブに考えないと、長期のくらく楽流、ひとり旅は続かない。  
人形のイルミネーションが歓迎してくれているようだ。